

はじまり

7-11記念財団の海外研修は2020年以降実施されていない中、JENs-Netの仲間を増やす方策のひとつとして、国内で同様の研修をしてはどうかと声があがり始めた。
プロジェクトのリーダーは菊間、2023年9月から毎月ミーティングを重ねてきた。
超実践型研修を目指したい、目指すべきという信念のもと、2024年11月福井研修を充実させるために、合宿を行うことになった。

シン・ツール

旅しお（旅行・イベントのスケジュール共有の無料ツール）を豊田（菜）事務局長が作成し、気分が盛り上がる↑



場所

北琵琶湖「ルミエールの丘」



参加メンバー

武田みゆき、豊田菜々子、佐治真紀、田村裕美、菊間彰、豊田直之、藤浦清香、池田龍介（ワライ）
参加者の専門分野、活動フィールド等は「TASABLE」で検索できます。

<http://nomori.xsrv.jp/acvtest4/>

武田「琵琶湖の話」

琵琶湖の歴史、文化、生き物、水の話
いろいろな数値を使って紹介され、琵琶湖の魅力が伝わりました。
子供にも分かりやすくまとめられていて、語りも絶妙。
日本一の琵琶湖には、“ヘー！”がいっぱいでした。



豊田（横浜）プラごみバスターズ

- ・プラごみバスターズの活動報告
- ・トピックス「プラスチックを分解するフナムシの可能性について」
- ・飼育中のフナムシっ子を持参・紹介（隠れていて写真は撮れず）



藤浦「童心に帰ってワーク」(野外)

子どもに戻って自由に遊ぶ役、見守る大人役に分かれて観察を共有。
数分で秘密基地を作った菊間さんはさすが！



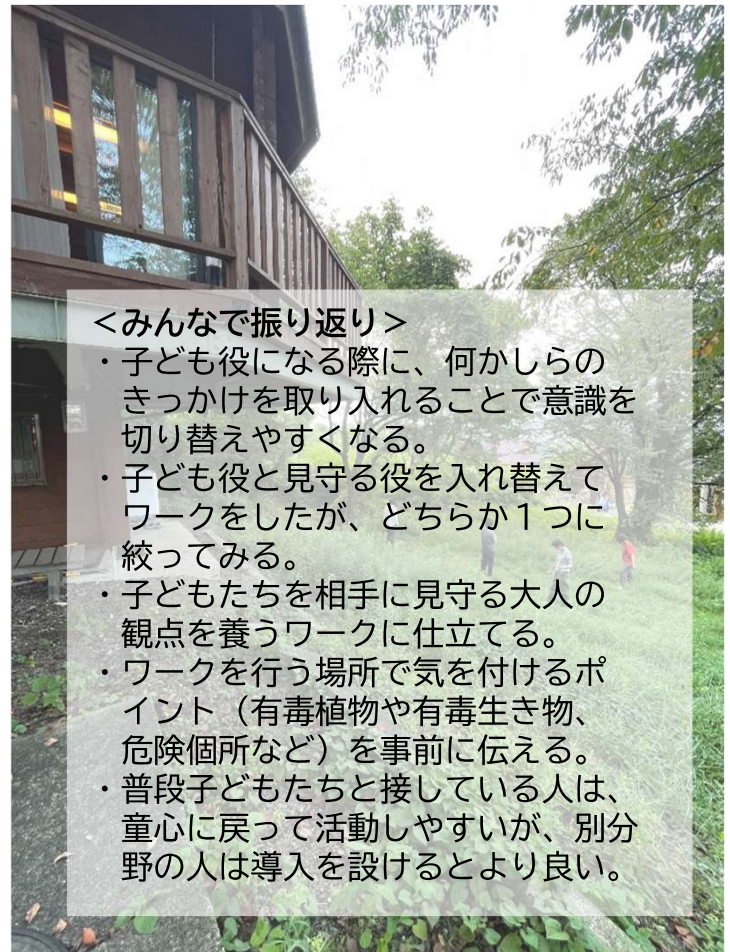
菊間 外伝

モザンビーク紀行を披露。
(帰国から琵琶湖へ直行だからこそそのHotな話題提供)



藤浦 火のワーク(野外)

マッチ1本で焚火を熾してみよう！
菊間、佐治→1本で成功、田村→10本ほど使用



<みんなで振り返り>

- ・子ども役になる際に、何かしらのきっかけを取り入れることで意識を切り替えやすくなる。
- ・子ども役と見守る役を入れ替えてワークをしたが、どちらか1つに絞ってみる。
- ・子どもたちを相手に見守る大人の観点を養うワークに仕立てる。
- ・ワークを行う場所で気を付けるポイント(有毒植物や有毒生き物、危険個所など)を事前に伝える。
- ・普段子どもたちと接している人は、童心に戻って活動しやすいが、別分野の人は導入を設けるとより良い。

田村 マネジメント系

内閣府地域社会雇用創造事業(2010~2011)の紹介、主に地球温暖化防止の6週間の研修事業を全国2000名に実施。その他、技術士会活動、防災士業連携、放課後あずかり事業などのマネジメント経験を紹介。

質問：マネジメントのキモとは？

- 自ら現場に立つ
- 人に任せられるものを先ず考える(役割を明確にして、分担する)
- 社会において自分がやれることを伝える(使命感・ミッション)



池田 「拾い箱」

鹿児島県最南端の与論島、「拾い箱」の普及プロセスの紹介。

海ごみという地域課題を観光や教育に繋げた事例について報告。



佐治 「インタビュー実践」

話の振り方、相槌、表情、質問など、話しやすい雰囲気づくりを体感。

山川里海に対する想い、動機を語っていただくことで、自己の振り返りと他者への共有を図る。



菊間 「インタープリテーション」(野外)

インタープリテーション体験と小講義。まずは体験。インタープリターはしゃべるのではなく「互換」と「体験」を通じて伝える。最大の特徴である「アクティビティ」を使ったガイド手法を体験してもらった。どこでも、誰にでも楽しめ、自然の中に入り込めた。

その後インタープリテーションの概要を講義。しゃべるな危険、コミユカ大事、まず感動！



いただきます！のコーナー

野外炊飯なら任せろ♪ おでん&ダッチオープン 居酒屋豊田開店

近江牛をモザンビークの塩とカボスで。



ここにおでん

アフリカンワイン！

Topic

調達先紹介：「川魚の西友」(せいゆうじゃないよ、にしとも) 海はないけど日本一の湖がある！ということで、川魚専門店へ。 取り扱い魚種：ウナギ、ホンモロコ、コアユ、ビワマス、コイ、イサザ、ヒウオ、ワカサギ、エビ、シジミ、フナ、ニジマス



反省

- ・タッパーウェアを用意しておく、持ち帰りしやすい
- ・ワークで使うものは現地調達をしない